

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を再開

子宮頸がんワクチンは2013年6月14日から定期接種の積極的勧奨が差し控えられてきましたが、2021年11月15日第26回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨を再開することを決定しました。堺市の場合、定期接種の対象者に積極的勧奨に戻った旨のお知らせが4月1日に発送されます。これまで積極的勧奨の差し控えにより接種の機会を逃した方への救済策「キャッチアップ接種」については、今後同会で議論されます。

厚生労働省HP『大阪府の最新感ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の今後の対応について(令和3年11月26日、健発1126第1号)』

4月～5月初めのコロナワクチンはファイザーでできます

3回目接種の方へ:18歳以上の堺市在住の方の3回目接種は、2回目から6か月以上で可能です。もうすぐ12～17歳の方の3回目接種も開始されるものと思われます。コロナワクチン予約の専用サイト <https://www.shujii.com/2977771/i/> で受付します。入力方法はやや難しいと思いますので、まずは当科ホームページ(<https://akazawa-kids.com/>)をご覧ください。オンラインでの予約が苦手という方は当科診療日の時間内にお電話(072-297-7771)ください。

1・2回目接種の方へ:4月から5月初めにかけてはファイザーワクチンだけ入荷する予定です。3週間間隔で予約をお取りください。ただし、ワクチン希望の方が減ってきており、段々と夕方と土曜が中心になるように接種枠を減らしていつていきますので、当科診療日の時間内にお電話(072-297-7771)でご相談ください。また、5月中旬以降はワクチン入荷が未定であり、日程によっては仮予約になります。



3回目用
予約専用サイト

5～11歳の新型コロナワクチン接種受付中

5～11歳の方の小児用新型コロナワクチン接種を開始しています。特定日の金曜(一部木曜)の16:45～17:15か、土曜を基本に受付中です。当科診療日の時間内にお電話(072-297-7771)で1回目と2回目をセットで予約してください。

コロナワクチン3回目接種の発症予防効果は68.7%

長崎大などの研究チームが2022年1～2月に発熱などの症状を訴えて全国10都県の医療機関を受診した16～64歳の2000人を対象に新型コロナウイルスワクチンの3回目接種(ファイザー社かモデルナ社製)の有効性を国内で分析したところ、(主にオミクロン株に対する)発症予防効果は68.7%でした。今回調査で2回目接種だと(主にオミクロン株に対する)発症予防効果は42.8%であり、昨年7～9月に同様に解析した際(概ねデルタ株の頃)の88.7%を下回りました。中山哲夫・北里大学大村智記念研究所特任教授は「オミクロン株に対する効果を高める上で、3回目接種の意義は十分あると考えられる。日本のデータという意味でも価値が高い」とコメントされています。

読売新聞2022年3月30日夕刊『ワクチン3回目予防効果「7割」長崎大など推定』

ファイザーワクチン3回目接種の高齢者での効果

ドイツ・ベルリンの開業医で募集された、年齢中央値82(76～96)歳の37例を対象に、SARS-CoV-2中和活性が縦断的に測定されました。ファイザーワクチン3回目接種1か月後にはオミクロン株には33例に強力な中和抗体が誘導されました。3回目接種3.5か月後でオミクロン株への中和抗体価は3分の1に低下も、30例で検出可能な中和抗体を維持していました。3回目接種後の中和抗体の推定半減期はデルタ株で64日(52～83)、オミクロン株で41日(34～52)でした。

ケアネットHP『オミクロン株に対するブースター接種、高齢者での効果は?』Vanshylla.K et al. Lancet Infectious Diseases誌オンライン版(2022年2月28号)『Durability of omicron-neutralising serum activity after mRNA booster immunization in older adults』

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種 結局延長

3月18日付で堺市医師会から通知があり、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象とした『風しん第5期定期接種』は2022年4月1日から結局3年間延長されることになりました。未受検の方に6月下旬頃にクーポン券が届くはずですが、ただし、堺市在住の方でしたらクーポン券がなくても当科で抗体検査や結果によってはMR(麻しん風しんワクチン)を進めることができます。

日本脳炎ワクチンの制限解除？

日本脳炎ワクチンの不足が4月から徐々に改善するかもしれません。入荷数をみながら、以前の制限(1回目と2回目の方が、定期接種の期限が近い人のみ)を解除の方向です。

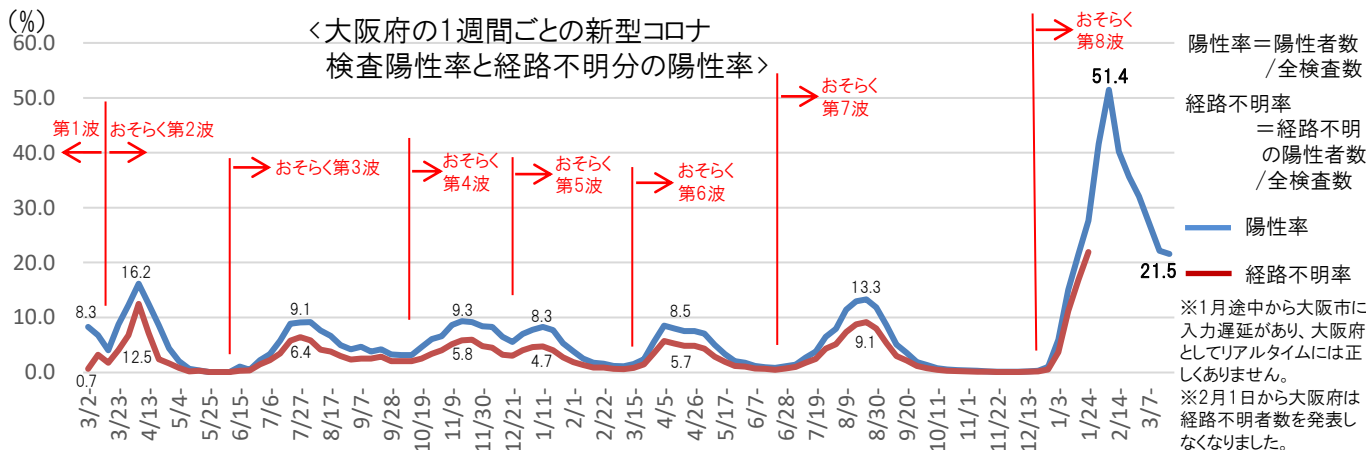
当科のコロナ抗原検査の陽性率

	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率
2月2日～5日	10	3	0	30%
2月7日～12日	21	10	4	56%
2月14日～19日	11	4	0	36%
2月21日～26日	5	3	0	60%
2月28日～3月5日	21	13	1	64%
3月7日～12日	14	4	3	41%
3月14日～19日	14	6	2	50%
3月21日～26日	13	6	1	50%
合計	109	49	11	50%

当科でのコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。

陽性率は3月21日から26日でまだ50%あります。大阪府の陽性率が21.5%、堺市の陽性率が21.2%まで下がってきていますが、当科ではまだ高めです。

大阪府の新型コロナ感染症陽性率は下げ止まり？



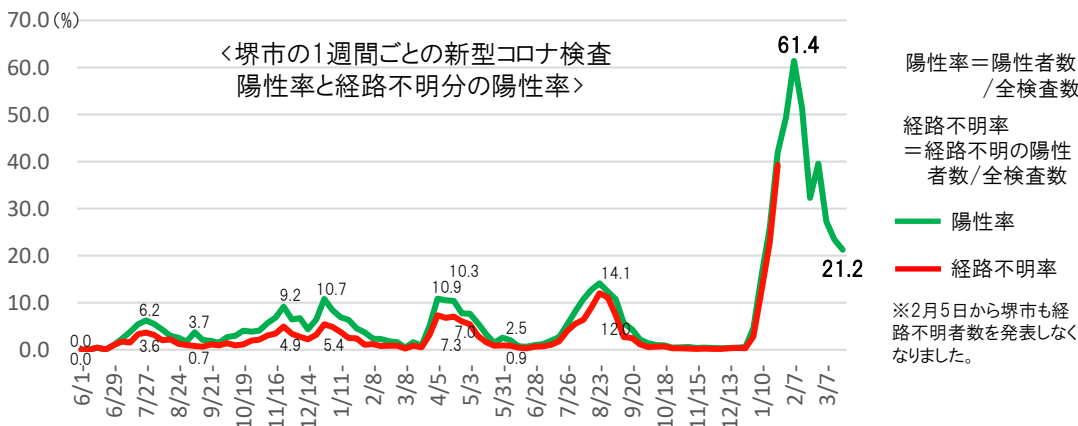
大阪府の新型コロナ検査陽性率は2月7日の週の51.4%をピークに低下してきていますが、下げ止まってきているようにも見えます。

大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2022/3/27』

堺市のコロナ陽性率は改善中

堺市の陽性率は2月7日の週の61.4%をピークに段々と改善してきてます。大阪府と同様に下げ止まるのでしょうか？

出典:堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2022/3/27



4月・担当医の変更

5日(火) 赤澤→片桐
16日(土) 片桐→赤澤